

堺小ネタ帖 MAP

全市面積: 149.99平方キロメートル
人口: 842,745人
(いずれも平成24年8月1日現在)

●これらの小ネタに、あなたが知る情報を加えて、堺をPRしてください。

イラスト/奈路道程 デザイン/山崎慎太郎 制作/編集集団140B
発行/堺市長官室広報部 行政資料番号/1-C3-12-0224

大きすぎた? 堺県。

明治元(1868)年の明治維新で、幕府直轄地だった堺は堺県となる。県庁は西本願寺堺別院であった。和泉・河内、そして後に大和(今の奈良県全域)が編入され、大阪府をしおぐ大きな県が設置された。明治14年大阪府に合併、次いで奈良県が分離される。大阪府堺市になったのは、市制町村制が施行された明治22(1889)年。東京、大阪、名古屋、京都などと同時に堺市ができた。すなわち、大阪府には大阪市と堺市の二つの市が誕生したことになる。堺は明治維新後も都市としての面目躍如たるものがあるのだ。

先輩後輩。

「やは肌のあつき血汐にふれも見て」という斬新な歌で、日本近代文学を切り拓いた「情熱の歌人」与謝野晶子。甲斐町の菓子商「駿河屋」に生まれ、市立堺女学校を卒業している。市立堺女学校は府立高等女学校に改編され、晶子の約半世紀のうちに、偉大な脚本家となった橋田壽賀子が卒業している。さらに40年後、学制改革により名称変更した府立泉州高校からは女優の沢口靖子が出た。行基や利休、鉄砲の橋屋又三郎といった時代の人物を輩出し、「ものの始まりみな堺」といわれる街は、新しい女性像も先取りしている。

1960年代に64.8%と前代未聞の視聴率を獲得したのが「てなもんや三度笠」。その劇中の名台詞である「あたり前田のクラッカー」は、「見たことがないが知っている」永遠のフレーズ。観劇や映画、遠足、旅行の友の赤い小箱「都こんぶ」は、地下鉄から新幹線の駅売店にまで置いてある。堺の菓子を見てみると、くるみもちの「かん袋」は創業1329年で後醍醐天皇もびっくり。創業1532年「本家小嶋」の芥子餅、元禄創業の「八百源」の肉桂餅などなど。とてつもなく旧いが、どれも時代のヒントにあふれてどこか愉快だ。

シスコ、サロマ湖、富山と競う。

堺市の人口はオランダの首都アムステルダム(76万人)より、ジャズの名曲で有名なサンフランシスコ(81万人)よりも多い84万人。府内で大阪市に次ぐ面積150km²は北海道のサロマ湖(151km²)とほぼ同じで、堺市民はサロマ湖を訪ねたら「これがわが街の広さか…」と感慨に耽ってほしい。一番の自慢は3兆円を誇る製造品出荷額。医薬品だけでなくアルミサッシや銅製品で有名な富山県とほぼ同額。従業員1人当たりの出荷額では6,000万円と富山県(2,500万円)の倍以上稼ぐ。のみならず農業産出額は府下1位の36億円。文武ならぬ「農工」両道をゆく。

堺 小 ネタ帖 其の七

堺市

最大の前方後円墳。

ピラミッドをしおぐ墳墓として知られる仁徳天皇陵古墳は、円と四角を連結させた、上から見ると鍵穴のような形の前方後円墳だ。面積約46万平方メートル。甲子園球場約12個分の広さは、5世紀の人力で1日最大2千人が働いても15年8か月かかると言われており、当時の「大王」の権力が絶大だったことがわかる。この仁徳天皇陵古墳をはじめ100基を超えた百舌鳥古墳群は、大阪湾入口の明石海峡や紀淡海峡からも見え、大陸・朝鮮半島、北九州から難波津への来訪者の度胆を抜いた。百舌鳥古墳群は、羽曳野市・藤井寺市に広がる古市古墳群と共にユネスコの世界文化遺産登録をめざしている。

えほり 家原に生まれた行基は15歳で出家し、名門・飛鳥寺で会得。後に東大寺大仏建立事業に多大な働きをし、聖武天皇から「大僧正」を受けられる。けれども本来は、国家鎮護の仏教よりも民間布教にいそしみ、禁を犯して49もの寺院を建立した。律令体制の苦役下にあって、浮浪人や行き倒れになる農民を救った行基は、いつも民衆の側にいた。また摂河泉には灌漑用の巨大なため池や用水路を残し、卓越した土木技術者であったことを物語っている。僧行基はまさに奈良時代の「輝く民衆の星」であった。

えほり 千利休は堺の商家に生まれた。堺において北向道陳から東山風の茶の湯、武野紹陽から侘び茶を学び、茶道を大成した。信長に接近し、その後「天下一の茶頭」として秀吉に仕えるが、やがて対立し自刃する。その頃の堺は、国際貿易都市として日本の海外ビジネスの最重要拠点。そして茶道は彼らセレブ男子の嗜みだった。だからこそNHK大河ドラマでも「黄金の日々」では鶴田浩二、「秀吉」では仲代達矢、「江」では石坂浩二と、信長、秀吉などの主役を喰らわんばかりの重鎮が演じる重要な人物なのだ。

そう、行基はえらい。

スーパースター利休。

「帝国第一の市場」と世界を股にかけた葡萄牙商人に目され、宣教師ザビエルが来た堺。豪商の日比屋了慶が彼を迎え、当時は珍しい瓦葺き3階建ての邸宅で布教した。その十数年後には宣教師ルイス・フロイスも来堺、信長に厚遇されている。彼らはキリスト教と一緒に、世界の文物を持ってきた。しかし堺商人は単に他国の商人を迎えていただけではない。諸大名と同等の特許を受けて南洋貿易にあたった冒險的商人であった。納屋助左衛門などは「ルソンの壺」50個を秀吉の口入れで諸大名に売り巨万の富を得た。

ザビエルが来た。

種子島に伝來した鉄砲は堺で作られ広まった。家康発注による日本初の大砲も堺製であり、17世紀の半ばには年間1万丁の鉄砲が量産された。また南蛮渡來のタバコが栽培され、葉を刻む包丁の需要が増えたため、堺製のタバコ包丁がその切れ味の鋭さから江戸幕府から「堺標」印を受け一世を風靡した。現在も全国の料理人のほとんどが、堺の包丁を使っている。それらの金属加工の豊かな経験と高度な技術は、自転車のフレームやパーツ製作に活かされ、メイド・イン・ジャパンの技を象徴する堺の名を世界的なものにしている。

本家 GINZA。